

第2期築上町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度効果検証

令和5年10月17日
築上町企画財政課

目次

- 01 始めに
- 02 基本目標 1 地域の発展を担う魅力あるしごとづくり
- 03 基本目標 2 住みたい・訪れたい人の流れづくり
- 04 基本目標 3 子どもを産み育てやすいまちづくり
- 05 基本目標 4 安心して暮らせる時代に合った地域づくり

目次

01 始めに

02 基本目標1 地域の発展を担う魅力あるしごとづくり

03 基本目標2 住みたい・訪れたい人の流れづくり

04 基本目標3 子どもを産み育てやすいまちづくり

05 基本目標4 安心して暮らせる時代に合った地域づくり

第2期築上町まち・ひと・しごと創生総合戦略

第2期築上町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の目的

「人口減少の抑制」・「地方創生」の達成に向けた目標と施策を具体化するため

計画期間

令和3年度から令和6年度まで

総合戦略の基本目標

- 基本目標1 地域の発展を担う魅力あるしごとづくり
- 基本目標2 住みたい・訪れたい人の流れづくり
- 基本目標3 子どもを産み育てやすいまちづくり
- 基本目標4 安心して暮らせる時代に合った地域づくり

有識者の皆様にご議論していただきこと

【その1】

基本目標毎に定めた数値目標及びK P I（重要業績評価指標）の進捗に対する町の自己評価は妥当なものであるかどうかご議論ください。

【その2】

町が認識している課題は妥当なものであるかどうかご議論ください。

【その3】

基本目標ごとに抽出された課題を解決するために、有識者の目線から、築上町で実現可能である有効な取組みがあればご議論ください。

ご議論していただく上でお願いしたいこと

【その1】

部分的な視点ではなく、全体的な視点からご議論していただきますようお願いいたします。

(例) 「〇〇さんの家の隣にバス停を設置して欲しい」ではなく、
「〇〇地区はバス停まで歩くことが難しい高齢者が多いので、
事前予約型乗合タクシーを〇〇地区まで拡大するべきではないか」
のような視点でご議論していただきますようお願いいたします。

【その2】

町民や地域の団体との協働という視点を持ちながらご議論していただきますようお願いいたします。

【その3】

数値目標やK P Iの妥当性については、今回の会議の議題ではございません。
第3期総合戦略策定の際の会議でご意見をいただけますと幸いです。

進捗状況に関する評価について

総合戦略の数値目標及びK P I について、以下により自己評価を実施しています。

評価	評価内容
◎	既に数値目標又はK P I を達成している。
○	順調に数値目標又はK P I 達成に向けた取組みを実施できている。
△	数値目標又はK P I 達成が現状の取組みでは難しいため、改善が必要。
×	現状では、数値目標又はK P I 達成が難しいため、大幅な改善が必要。

(注) 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けていると思われるものについては、「(コ)」と記載しています。

目次

01 始めに

02 基本目標1 地域の発展を担う魅力あるしごとづくり

03 基本目標2 住みたい・訪れたい人の流れづくり

04 基本目標3 子どもを産み育てやすいまちづくり

05 基本目標4 安心して暮らせる時代に合った地域づくり

基本目標1 地域の発展を担う魅力あるしごとづくり

数値目標

項目	基準値	実績値		目標値 (令和6年度)	進捗状況
		令和3年度	令和4年度		
新規就業者数 (第一次産業) ※令和3～6年度累計値	2人 (令和2年度実績値)	0人	<u>0</u> 人	10人	×
新規創業者数 ※令和3～6年度累計値	1人 (令和元年度実績値)	2人	<u>5</u> 人	8人	○

具体的施策

- ① 農林水産業の振興
- ② 創業支援・企業誘致の推進

総合戦略に基づき令和4年度に実施した主な事業

① 農林水産業の振興

事業内容	主な成果
地域おこし協力隊の制度の活用	<ul style="list-style-type: none">・任期終了後の協力隊1名が漁業者として町内に就職・任期中の協力隊3名の1年間の活動を支援
6次産業化の積極的な推進	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度「ふくおか6次化商品セレクション」2件受賞 【福岡県知事賞】築上きくいもふりかけ（合同会社豊築マルシェモンステラ） 【審査委員特別賞】あまおうジャムバター（エースいちご株式会社）
資源循環型農業の推進	<ul style="list-style-type: none">・椎田地区3つの小学校で田植え体験（2回）・出前授業（4回）・施設見学受入（2回）を実施・濃縮液肥を乗用管理機で散布して、大麦の栽培が可能であることを確認
水産業の取組支援	<ul style="list-style-type: none">・あさり資源回復のための耕うん作業や母貝育成のための砂利袋を設置した結果、あさりの資源量が約5%増加した。（モニタリング調査の調査結果）

② 創業支援・企業誘致の推進

事業内容	主な成果
創業者への支援	<ul style="list-style-type: none">・京築4市町と4商工会で立ち上げた京築創業応援団で創業セミナーを実施（4回）
地元企業への支援	<ul style="list-style-type: none">・ちくじょう祭り、ふくおか町村フェアで地元特産品のPRを実施
企業誘致の推進	<ul style="list-style-type: none">・既に築上町に誘致した企業の固定資産税の課税免除（2社）と雇用促進奨励金の支給（1社）を実施

K P I (重要業績評価指標)

項目	基準値	実績値		目標値 (令和6年度)	進捗状況
		令和3年度	令和4年度		
地域おこし協力隊の 隊員数 <small>※令和3～6年度累計値</small>	1人 (令和2年度実績値)	4人	<u>4人</u>	3人	◎
ふるさと納税 返礼品数	219件 (令和2年度実績値)	342件	<u>381件</u>	250件	◎
新規創業者数 <small>※令和3～6年度累計値</small>	数値目標と同一項目のため記載省略				
空き店舗バンク 登録件数 <small>※令和3～6年度累計値</small>	— (総合戦略策定時点で制度なし)	0件	<u>0件</u>	7件	×

数値目標・K P I 達成のための課題と今後の取組方針

① 農林水産業の振興

課題

- ❑ 第一次産業の新規従事者が少ない
- ❑ キクイモ、ヤーコン、京築ヒノキ以外の新たな作目の特産品化ができていない
- ❑ 築城地区の液肥利用が進んでいない
- ❑ 農林水産業にデジタル技術を導入できていない

今後の取組方針

- ❑ 町・県・J A及び農業共済で構成されている築上町農業振興連絡協議会において、引き続き、新規就農相談等を行う
- ❑ 福岡県京築普及指導センターから提案があった葉わさび等の作目の紹介を事業者に行う
- ❑ 築城地区の小中学生向けに循環型農業の出前授業増加を図るとともに、液肥普及のための更なる体制整備の検討を行う
- ❑ デジタル技術の導入に必要なネットワーク環境整備の補助金等を模索する

② 創業支援・企業誘致の推進

課題

- ❑ 空き店舗バンクを創設できていない
- ❑ 町内外への商品P Rイベントに参加意欲がある事業者を把握できていない
- ❑ 企業誘致を行うための適地が存在しない

今後の取組方針

- ❑ 空き店舗バンクを創設し、空き店舗バンクを活用した創業支援を行う
- ❑ 事業者に対して商品P Rイベント情報や補助事業等を円滑に提供できるよう広報等で周知を行う
- ❑ 可能な範囲で県の支援制度（遊休公共不動産活用促進事業等）を活用し、企業誘致を図る

目次

01 始めに

02 基本目標1 地域の発展を担う魅力あるしごとづくり

03 基本目標2 住みたい・訪れたい人の流れづくり

04 基本目標3 子どもを産み育てやすいまちづくり

05 基本目標4 安心して暮らせる時代に合った地域づくり

基本目標2 住みたい・訪れたい人の流れづくり

数値目標

項目	基準値	実績値		目標値 (令和6年度)	進捗状況
		令和3年度	令和4年度		
県内転入者数	334人 (平成30年10月～令和元年9月)	259人 (令和2年10月～令和3年9月)	<u>277人</u> (令和3年10月～令和4年9月)	374人	△
主要観光施設の 観光客入込数	734,249人 (平成31年1月～12月)	593,742人	<u>591,327人</u>	740,000人	△(コ)

具体的施策

- ① 移住・定住の促進
- ② 交流人口と関係人口の拡大

総合戦略に基づき令和4年度に実施した主な事業

① 移住・定住の促進

事業内容	主な成果
移住・定住に関する体制の充実	<ul style="list-style-type: none">・空き家バンクを經由して5件の物件を成約・築上町 移住・定住サイトの公開開始
郷土愛の醸成	<ul style="list-style-type: none">・町職員を講師とする授業（「中津街道を歩く」、「宇都宮氏の史跡を歩く」「築城の歴史」）など町内小学校で平均50時間のふるさと教育を実施

② 交流人口と関係人口の拡大

事業内容	主な成果
町外への情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none">・町の観光地PR動画を作成し、JR小倉駅、福岡市営地下鉄博多駅等で動画を4.5ヵ月放映（累計）
観光の充実	<ul style="list-style-type: none">・町内観光地を周遊する仕掛けづくりのため、トリックアートを作成し、町内4施設に設置
神楽をはじめとする伝統芸能の保存継承やPR	<ul style="list-style-type: none">・第10回築上町神楽民俗芸能祭を開催・京築地域の市町及び県と共同して、大濠公園能楽堂（福岡市）で神楽PR講演を実施
若い世代との連携によるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none">・福岡県立築上西高等学校及び西日本工業大学の生徒向けに築上町に関する講演を実施（高校2回、大学1回）

K P I (重要業績評価指標)

項目	基準値	実績値		目標値 (令和6年度)	進捗状況
		令和3年度	令和4年度		
空き家・空き地 バンク成約件数 <small>※制度発足からの累計値</small>	20件 <small>(令和元年度時点の累計値)</small>	25件	<u>30件</u>	40件	○
移住・定住者向け 特設ページの アクセス数	— <small>(総合戦略策定時点でページ未作成)</small>	— <small>※ページ作成中で公開ができなかった</small>	<u>2,077件</u>	400件/年度	◎
ふるさと教育の 実施時間 <small>※学校平均</small>	50時間 <small>(令和2年度各学校の平均値)</small>	50時間	<u>50時間</u>	70時間	△
築上町LINE公式 アカウント友だち数 <small>※累計値</small>	1,506人 <small>(令和2年10月1日時点)</small>	3,450人	<u>3,980人</u>	4,000人	○
主要観光施設の 観光客入込数	数値目標と同一項目のため記載省略				

数値目標・K P I 達成のための課題と今後の取組方針

① 移住・定住の促進

課題

- 移住・定住対策を全庁的に取り組めていない
- 移住者の受入先となる宅地の造成が進んでいない
- 空き地バンクの創設ができていない
- ふるさと教育の実施時間について、各校でばらつきがある

今後の取組方針

- 全庁が一丸となって移住・定住の促進を行える体制づくりを行う
- 利用されていない町有地を宅地にできないか調査を行う
- 令和5年度中に空き地バンクを創設する
- 校長会等を通じ、学校へふるさと教育の周知を行う

② 交流人口と関係人口の拡大

課題

- 町外向けの戦略的な情報発信ができていない
- 関係人口の交流拠点がない
- 関係人口と地域住民の交流・活動をコーディネートする人材が不足している

今後の取組方針

- 効果的な情報発信方法の検証を行い、ターゲット層毎に適切な媒体を利用し、戦略的に情報発信を行う
- 関係人口が町で輝ける環境を整備する

目次

01 始めに

02 基本目標1 地域の発展を担う魅力あるしごとづくり

03 基本目標2 住みたい・訪れたい人の流れづくり

04 基本目標3 子どもを産み育てやすいまちづくり

05 基本目標4 安心して暮らせる時代に合った地域づくり

基本目標3 子どもを産み育てやすいまちづくり

数値目標

項目	基準値	実績値		目標値 (令和6年度)	進捗状況
		令和3年度	令和4年度		
子育てしやすいと感じる割合	— (総合戦略策定時点で調査実績無し)	52.5%	<u>57.9%</u>	85%	△

具体的施策

- ① 出産・子育ての切れ目のない支援の充実
- ② 教育環境の充実

総合戦略に基づき令和4年度に実施した主な事業

① 出産・子育ての切れ目のない支援の充実

事業内容	主な成果
子育て支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none">・ 出産応援交付金（103件）、子育て応援交付金（63件）を交付・ 新生児検査（先天性難聴・ライソゾーム病）費用の助成を実施（70件）・ 産後ケア事業の開始（1名1回利用）・ 小学生～高校生までの医療費を助成（2,261件）
関係機関等との連携強化	<ul style="list-style-type: none">・ 子育て世代包括支援センター（妊娠期から子育て期までのワンストップ相談窓口）を運営（利用件数：801件）・ 広域自治体連携による小児救急医療体制の整備
放課後児童クラブの充実	<ul style="list-style-type: none">・ 町内4箇所の放課後児童クラブに副主任を配置し、放課後児童クラブの体制を充実化（利用者数：120人）

② 教育環境の充実

事業内容	主な成果
学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none">・ 町内小学4年生と中学3年生の希望者向けに築上塾を開講（90名参加） 小学4年生向けに漢字能力検定7級を実施（合格率83.3%）・ スクールソーシャルワーカー1名、スクールカウンセラー3名を町内に配置・ 町立小・中学校の生徒1人に対して1台、タブレット端末を配布し、ICT教育を推進
社会教育の充実	<ul style="list-style-type: none">・ 令和5年度に地域学校活動本部を設置するため、地域学校活動本部員の募集を実施 （個人登録：17人 団体登録：19団体 登録人数の総計：575人）

K P I (重要業績評価指標)

項目	基準値	実績値		目標値 (令和6年度)	進捗状況
		令和3年度	令和4年度		
妊娠期の方への サポート支援率 <small>(妊娠中期の方への電話フォロー)</small>	— <small>(総合戦略策定時点で調査実績無し)</small>	95%	<u>95%</u>	100%	○
男女共同参画に 関するイベント・ 講演会実施数	— <small>(総合戦略策定時点で調査実績無し)</small>	1回	<u>1回</u>	毎年1回	◎
町立小学校の「全国学 力・学習状況調査」の 標準化得点の教科ご との平均値	国語：98.8 <small>(令和元年度実績)</small>	国語：101	<u>国語：101</u>	国語：100以上	◎
	算数：98.9 <small>(令和元年度実績)</small>	算数：100	<u>算数：100</u>	算数：100以上	◎
町立中学校の「全国学 力・学習状況調査」の 標準化得点の教科ご との平均値	国語：97.3 <small>(令和元年度実績)</small>	国語：98	<u>国語：100</u>	国語：100以上	◎
	数学：84.4 <small>(令和元年度実績)</small>	数学：100	<u>数学：99</u>	数学：99以上	○

数値目標・K P I 達成のための課題と今後の取組方針

① 出産・子育ての切れ目のない支援の充実

課題

- 子育て施策の周知が十分にできていない
- 病後児保育事業は実施できているが、病児保育事業が実施できていない
- 小児を診察できる医師が不足している
- 放課後児童クラブの利用者数に対する放課後児童支援員の配置に苦慮している

今後の取組方針

- 母子健康アプリを導入し、アプリを通じた子育て施策の周知を行う
- 病児保育事業の広域利用について、引き続き県と協議を行う
- 医療機関、医師会、関係自治体間で連携を図り、小児救急医療体制の維持に努める
- 放課後児童支援員の処遇改善等に努める

② 教育環境の充実

課題

- 築上塾の参加希望者が減少傾向にある
- 地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく体制の強化が必要

今後の取組方針

- 築上塾について保護者に周知を行う
- 学校協働活動本部を設置し、学校協働活動を推進する

目次

- 01 始めに
- 02 基本目標 1 地域の発展を担う魅力あるしごとづくり
- 03 基本目標 2 住みたい・訪れたい人の流れづくり
- 04 基本目標 3 子どもを産み育てやすいまちづくり
- 05 基本目標 4 安心して暮らせる時代に合った地域づくり

基本目標4 安心して暮らせる時代に合った地域づくり

数値目標

項目	基準値	実績値		目標値 (令和6年度)	進捗状況
		令和3年度	令和4年度		
築上町に住み続けたいと思う町民の割合	— <small>(総合戦略策定時点で調査実績無し)</small>	70.7%	<u>64.3%</u>	85%	×

具体的施策

- ① 健康寿命の延伸
- ② 生活基盤の充実
- ③ 安全で安心な持続可能なまちづくり

総合戦略に基づき令和4年度に実施した主な事業

① 健康寿命の延伸

事業内容	主な成果
生活習慣病の発症予防・重病化予防	<ul style="list-style-type: none">・過去最高の健診受診率（約40%）を記録・生活習慣病の受療率が前年度より上昇（約60%）
介護予防	<ul style="list-style-type: none">・住民が自治会単位で実施する介護予防型「通いの場」の開催を支援（14自治会）

② 生活基盤の充実

事業内容	主な成果
買い物支援の実施	<ul style="list-style-type: none">・物産館メタセの杜が実施する移動販売事業の運営を支援（利用者：3,976人）
路線バスやコミュニティバスの利便性向上	<ul style="list-style-type: none">・利用者の少ないコミュニティバス2路線廃止し、バスを廃止した地域に事前予約型乗合タクシーを導入（利用者：687名）・コミュニティバスの全ての路線において、椎田駅止まり、又は築城駅止まりとなっている路線の相互乗り入れを実施（利用者：12,498名）

総合戦略に基づき令和4年度に実施した主な事業

③ 安全で安心な持続可能なまちづくり

事業内容	主な成果
持続可能なまちづくり	<ul style="list-style-type: none">・利用状況が極めて少ない財産や遊休地などの売却が可能となるよう例規を整備・住宅のバリアフリー（※）化を推進（9名に住宅改修費を補助）・心のバリアフリーに向けた、小中学生向けのイベントを開催<ul style="list-style-type: none">（車いすバスケットボール教室（中学生対象）：3回走り方教室（小学生対象）：4回ブラインドサッカー教室（小学生対象）：4回・「第2期築上町公営住宅等長寿命化計画」に即し、適切な公営住宅の維持管理を実施
地域・交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none">・地域運営組織である自治会の運営支援を実施・認知症の方やその家族、地域住民など誰もが集うことのできる場所「オレンジカフェきづき」を毎週木曜日に開催（631人（延べ人数）が参加）
安全で安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none">・避難行動要支援者管理システムを導入・自治会毎に設置された自主防災組織への支援を実施

（※）バリアフリー・・・多様な人が社会に参加する上での障壁（バリア）をなくすこと

K P I (重要業績評価指標)

項目	基準値	実績値		目標値 (令和6年度)	進捗状況
		令和3年度	令和4年度		
特定健診受診率 (国民健康保険加入者)	35.3% (令和元年度)	36.6%	<u>39.8%</u>	60%	△
介護予防型サロンの 設置数	— (総合戦略策定時点で制度なし)	10地区	<u>14地区</u>	66地区	△
移動販売利用者数	— (総合戦略策定時点で制度なし)	— (移動販売開始のための準備期間)	<u>3,976人</u>	3,900人	◎
認知症カフェ 利用者数	843人 (平成30年度実績値)	412人	<u>631人</u>	900人	○(コ)
防災訓練や防災講演 会等の参加者数 ※令和3～6年度累計値	200人(概算) (令和元年度)	0人	<u>35人</u>	1,000人	△(コ)

数値目標・K P I 達成のための課題と今後の取組方針

① 健康寿命の延伸

課題

- 健診受診率は県平均を上回っているが、京築管内の自治体と比較すると低い
- 治療中でコントロール不良の者への保健指導の実施体制が十分に確保できていない
- 「通いの場」を開催している自治会が一部の自治会だけ

今後の取組方針

- 健診の受診勧奨の機会を増やす
- 保健指導の機会を増やす
- 引き続き、「通いの場」を開催していない自治会に取組みについての説明を行うとともに、すでに「通いの場」を実施している自治会への支援を継続する

② 生活基盤の充実

課題

- 物産館メタセの杜が実施する移動販売事業の運営が町の補助金頼り
- コミュニティバスの利用者が前年より減少傾向

今後の取組方針

- 移動販売事業が軌道に乗るまで、財政支援を継続して行う
- コミュニティバスの時刻表の改正などを実施し、利便性の更なる向上を図る

数値目標・K P I 達成のための課題と今後の取組方針

③ 安全で安心な持続可能なまちづくり

課題

- 廃校など、利用していない公有財産が多い
- 将来人口推計に基づいた公共施設の維持・管理が十分にできていない
- 自主的な地域活動を行う組織に財政面以外での支援が十分にできていない
- 町内に空き家が多く存在する

今後の取組方針

- 利用していない公有財産の利活用や処分を行う
- 将来人口推計に基づいた公共施設の適切な維持・管理を行う
- 自主的な地域活動を行う組織に対して、財政面以外での支援を検討する
- 引き続き、空き家の適正管理の指導及び老朽危険空き家除去等を実施する